

# 新年のあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆さま方には、輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の終息の兆しが見えない中、感染力の強い新たな変異株「オミクロン株」が確認されるなど、一昨年からの混乱が地球規模で続いた一年となりました。

本市においても、特に多くの陽性者が確認された春の第4波、秋の第5波では、「不要不急の外出自粛」や「飲食店に対する営業時間短縮」の要請、「公共施設の休館」など、市民生活や経済活動に大きな影響を受けました。

一方、新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進んだこともあり、秋以降の感染者数が激減するなど、感染拡大に一定の落ち着きを取り戻しました。このようにコロナ禍の一年ではございましたが、夏には延期されていた「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催され、両大会合わせて史上最多となる109個のメダルを獲得した日本選手団の大活躍に日本中が希望と勇気をいただきました。

また、新しい生活様式に対応する働き方改革が加速し、ウェブ会議やテレワークの導入など急激なデジタル化の進展に伴い、働く場所を問わない多様な可能性の広がりとともに、都市から地方への移住が促進されました。地方での働き方や暮らし方が見直される中、新居浜市は、新技術や官民データのさらなる活用により都市・地域課題を解決する国のスマートシティモデル事業に選定されたことから、旧若宮小学校をリノベーションし、さまざまな働き方にも対応するレンタルオフィスやコワーキングルームをはじめ、木育ひろば、地域活動支援室などを備えた「ワクリエ新居浜」を開設いたしました。人生100年時代を見据えた生涯活躍の拠点、地方への新たな流れを創造する拠点として本市の魅力を広く発信してまいります。



さらに、昨年は、まちづくりの最上位計画「新居浜市第六次長期総合計画」がスタートいたしました。「―豊かな心で幸せつむぐ―人が輝く あかがねのまち にいはま」を将来都市像に掲げ、国際社会の開発目標である「SDGs」の達成を念頭におき、市民の誰もが心の豊かさと幸せを実感し、活躍ができるまちを目指してまいります。

また、ウイズコロナ・アフターコロナをしっかりと見据え、市民の皆さまへの3回目のワクチン接種をはじめ徹底した感染防止対策の実施に加え、地域経済の回復と成長力強化、子育てに優しい環境整備など、新たな時代の流れを力にする取り組みを積極的かつ着実に推進することにより、誰もが「安心」と「希望」を持てる新居浜の未来を切り拓いてまいります。

結びに、一日も早いコロナ禍の終息と、市民の皆さまのご多幸、ご繁栄を心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新居浜市長  
石川勝行



Hello!  
NEW

新居浜